

1. 求める学生像

学力の3要素	① 知識・技能	世界の中での日本文化を理解するために必要な言語・文学に関する幅広い知識と関心を持つ人
	② 思考力・判断力・表現力等	社会や文化のあり方について、論理的に思考・判断し、それを他者に表現できる人
	③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	地域・社会に主体的に関わる意欲を持ち、それを世界に発信する態度を有する人

2. 入学者選抜の基本方針：「求める学生像」に基づき、各選抜試験を行います。

選抜試験種別	一般選抜	前期日程	評価する能力	大学入学共通テストで5教科の①知識・技能とともに②思考力・判断力を評価し、さらに個別テストで外国語、国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。出願書類では③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	【大学入学共通テスト】5教科5科目 【個別テスト等】外国語（英語）、国語、出願書類 大学入学共通テストと個別テストの比重は1:1とし、出願書類の内容も含めて総合的に評価する。
		後期日程	評価する能力	大学入学共通テストで5教科、特に外国語、国語の①知識・技能を重点的に評価するとともに②思考力・判断力を評価し、さらに出願書類で③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	【大学入学共通テスト】5教科5科目 【個別テスト等】出願書類 大学入学共通テストの成績を基に、出願書類の内容も含めて総合的に評価する。
	学校推薦型選抜	県内枠	評価する能力	出願資格を国語の学習成績の状況が5段階評価で4.0以上であることとし国語の①知識・技能を、小論文で国語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力・判断力・表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	【一次】小論文 【二次】出願書類、面接 小論文と面接の比重は1:1とし、出願書類の内容も含めて総合的に評価する。
	特別選抜	社会人	評価する能力	小論文、適性検査で日本語と英語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力・判断力・表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	適性検査〔英語（筆記）〕、小論文、出願書類、面接 適性検査、小論文、面接の比重は1:1:1とし、出願書類の内容も含めて総合的に評価する。

※「個別テスト」とは、「各大学が実施する教科・科目に係る個別テスト」のことを指します。

選抜試験種別	特別選抜	帰国生徒	評価する能力	小論文、適性検査で日本語と英語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力・判断力・表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	適性検査〔英語（筆記）〕、小論文、出願書類、面接 適性検査、小論文、面接の比重は 1:1:1 とし、出願書類の内容も含めて総合的に評価する。
		外国人留学生	評価する能力	小論文、適性検査で日本語と英語の①知識・技能および②思考力・判断力・表現力等を評価する。面接では②思考力・判断力・表現力等および③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価し、これらすべてを兼ね備えた人を選抜する。
			評価方法・比重	適性検査〔英語（筆記）〕、小論文、出願書類、面接 適性検査、小論文、面接の比重は 1:1:1 とし、出願書類の内容も含めて総合的に評価する。